

平成23年6月定例会 一般質問一覧表

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
1	川 上 博 司	1 災害に強いまちづくりについて (1) 防災計画を見直し、事業継続計画(BCP)を策定すべきではないか (2) 「被災者支援システム」の活用について取り組むべきではないか (3) 児童・生徒に対し防災教育を行い、公立学校施設の防災機能の向上に努めるべきではないか 2 鳥獣被害対策の強化について (1) 専門部署として鳥獣対策係を設置すべきではないか (2) モンキードッグ事業について、その後どのように検討されたのか 3 駅のバリアフリーと新庁舎の建て替えについて (1) 3月議会の議論の後、どのような方向性になったのか
2	田 中 広 二	1 まちづくりにおける吉備国際大学との連携について (1) イングリッシュヴィレッジ構想と本市の取り組みについて (2) 文化財修復学科と吹屋地区との関わりについて (3) 食と農の研究との関わりについて 2 新庁舎及び駅舎整備を問う (1) 現時点の動向について (2) 当初予算との整合性を問う 3 高齢者対策について (1) 高齢者の生活実態調査及び問題点を問う (2) 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の活用の具体案を問う 4 人事運用と機構改革の成果と問題点について (1) 市長の就任後の機構改革について問う 5 公共交通の補助制度について (1) 高校生バス通学費補助金制度の実態を問う
3	山 縣 喜 義	1 第三者による事務事業の見直し、仕分けの必要性について (1) 決算統計上の事務事業は一般会計では 615 事業で、そのうち国庫補助事業 31、単独事業 584 (単県含む) だが、全部で 1,200 ぐらいあるのではないかと。行財政改革で精査はしたのだろうが、執行部の精査だけでなく、市民の有識者、議会も含めた第三者で仕分けの必要があるのではないかと
4	宮 田 公 人	1 消防行政について (1) 現在の職員定数は 65 名と昭和 59 年以降変わっていない。西分駐所の新設や、近年増加傾向にある救急出動の現状を考えると、今後の定数管理についてどのような見解を持っているのか

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
4	宮 田 公 人	<p>(2) 消防救急無線デジタル化の現状とGVP（Gps Voice Packettransceiver）導入の可能性について説明を求める</p> <p>(3) 消防団員数が減少傾向にある中で、地域消防の現状を考えると消防協力隊（消防団OB）の存在は大きいと考えるが、このような自衛組織を巻き込む形で地域防災に取り組むべきではないか</p> <p>2 学園文化都市のあり方について</p> <p>(1) 「まちと大学のちから活用懇話会」が平成23年1月25日、日本都市センターホテルにて開催されているが、この懇話会の開催目的と今後のあり方について説明を求める</p> <p>(2) 学園文化都市構想は旧高梁市における主要な行政課題であるが、こうした観点に立つならば、第三者機関としての懇話会でなく、高梁市民（各地域）、順正学園、高梁市、市議会、有識者など多くの関係者がテーブルに着き意見交換を行う場の提供が必要ではないか</p> <p>3 新庁舎、駅周辺開発、図書館建設について</p> <p>(1) 3月議会以降、新庁舎の建設、駅の橋上化及び周辺開発、並びに図書館建設について議論がなされていないが経過説明を求める</p>
5	内 田 大 治	<p>1 本市の災害対応について</p> <p>(1) 災害発生時の市民への連絡体制はどのようになっているのか</p> <p>(2) 本市の防災マップは降雨による災害を想定したものであるが、ダム（新成羽川ダム、河本ダム）の決壊を想定した対策もすべきではないか</p> <p>(3) 農地災害では国の災害査定基準以下でも市独自の基準を設け、復旧補助はできないか</p> <p>(4) 備中町平川の陥没地区内では、農地の陥没被害は復旧補助対象でない。補助対象とする制度を考えるべきではないか</p> <p>2 市民への市政の広報について</p> <p>(1) 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の再オープンについての広報は不十分ではないか。市として、あらゆる手段を活用して利用を促進する支援をすべきではないか</p> <p>(2) 落合町阿部の近隣公園、また成羽病院改築については利用を促進するために看板等を作製して広報したらどうか</p> <p>(3) 本庁に掲示している啓発用看板等を各地域局にも掲示したらどうか</p> <p>3 野猿対策について</p> <p>(1) 昨年度の野猿による農作物の被害と被害額はどのように把握しているか</p>

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
5	内 田 大 治	(2) 被害対策の現状をどのように認識しているか (3) 電気柵を野猿侵入防止柵の補助金対象にしたらどうか
6	難 波 英 夫	1 東日本大震災の救援、復興支援について (1) 長期支援（避難、派遣、義援金）が必要と思うが高梁市の今後の取り組みについて問う 2 福島第一原発事故をどう見るのか (1) 「安全神話」にしがみつき事故を考えず推進してきた結果と思うが、市長の見解を問う 3 原発の危険から住民を守るため原子力行政、エネルギー政策の転換を (1) 原発の「安全神話」は崩れた。市においても安全教育や宣伝はやめること (2) 市においては自然エネルギーへ転換するための施策を推進すること (3) 本市の防災計画の見直しで原発被害防止対策を明確にすること (4) 国に対して原子力行政、エネルギー政策の転換を求め、原発からの撤退をし、原発をゼロにする期限を切ったプログラムの作成を求めること 4 高齢者が安心できる介護保険の充実について (1) 政府の2012年度制度見直しでは、要支援者が介護保険給付からの排除が言われているが、その内容を把握しているのか (2) 制度の改悪でなく、充実こそを国に求めること 5 震災、社会保障の財源を理由にした消費税増税を行わないよう国に求めること 6 農作物の鳥獣被害防止の緊急対策を求める (1) 特にイノシシの捕獲奨励金は、県からの補助がなくなる9月、10月も市費をもって7月、8月と同額とすること
7	小 林 重 樹	1 スポーツ振興施策について (1) 神原スポーツ公園のサッカーヴィレッジ構想と各地域のスポーツ施設の一括管理について (2) ヒルクライムチャレンジシリーズの対応と課題について 2 学校教育について (1) 夢先生の授業が行われているが、その成果と今後の対応について (2) 平成23年度教育重点施策の中で、「ふるさと高梁に学ぶ教育を進めます」とあるが、その中に山田方谷のことは音読する内容を入れたらどうか

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
7	小 林 重 樹	<p>3 成羽病院について</p> <p>(1) 先の東日本大震災により建設資材の高騰、不足等が言われているが、建設に向けての計画は予定どおり進んでいるのか。また、地方公営企業法の全適用に向けてはどうか</p> <p>4 新副市長の市政への思いについて</p> <p>(1) 近藤市長から望まれ、また県からは最適任者として高梁行政に着任されたわけだが、副市長は自らどのような思いで市政に取り組んでいくのか</p>
8	三 上 孝 子	<p>1 東日本大震災から学ぶ「安全・安心のまちづくり」への本市の対応を問う</p> <p>(1) 高梁市地域防災計画の見直しについて</p> <p>① どのように見直しを行うのか、基本的な考え方を問う</p> <p>② 地震被害の想定と対策を問う</p> <p>(ア) 避難場所の正しい設定と住民への周知を求める</p> <p>③ 風水害対策について</p> <p>(ア) 河川、ため池、土砂災害と用排水路対策の早急な対応を求める</p> <p>(2) 災害から地域住民の安全を守る消防署の体制について</p> <p>① 毎日休むことなく活動する職員の体制充実へ増員を求める</p> <p>2 高齢者がそれぞれの地域で住み続けられるために交通手段の確保を</p> <p>(1) バス、タクシー利用券の増額を早急に求める</p> <p>3 空き学生マンション対策について</p> <p>(1) 現状をふまえた市の考え方を問う</p>
9	植 田 二 郎	<p>1 東日本大震災に対する諸課題について</p> <p>(1) 高梁市における支援の現状と今後の対策について</p> <p>(2) 高梁市が計画している諸事業に対する影響と対策について</p> <p>(3) 福島原子力発電所の事故をふまえ、今後のエネルギー施策について市長の見解を求める</p> <p>(4) 放射能汚染対策と放射性廃棄物処理対策について</p> <p>2 災害対策について</p> <p>(1) 水害時における避難場所の安全確保について</p> <p>(2) 住宅災害に対する市独自の支援策について</p> <p>3 公共交通のあり方について</p> <p>(1) 高梁市地域公共交通総合連携計画について</p> <p>(2) 高梁市における今後の交通施策について</p>

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
10	宮 田 好 夫	<p>1 地域防災計画について</p> <p>(1) 岡山県は4月20日、県地域防災計画の全面的な見直しに向けたプロジェクトチームを立ち上げているが、本市では計画の見直しの必要性があるのかどうか</p> <p>(2) 計画に基づき各地域で避難所が指定されているが、すべての施設で耐震対策が行われているのか</p> <p>(3) 冠水や土砂崩れ等の災害に巻き込まれる危険な所はないのか</p> <p>(4) 停電した場合の情報伝達手段や防災用品、器具等の備えはどのようになっているのか</p> <p>2 自主防災組織について</p> <p>(1) 自主防災組織の組織率が岡山県は低いと言われている。本市の状況はどうか</p> <p>(2) 自力避難の難しい災害時要援護者の名簿作りが求められているが、本市の作成状況はどうか</p> <p>(3) 実際に誰が誰を救助するのかという個別計画が必要である。本市の現状はどうか</p>
11	長 江 和 幸	<p>1 高梁市職員の懲戒処分基準の運用規程について</p> <p>(1) 交通事故等処分基準について問う</p> <p>2 高梁市市有自動車管理規程について</p> <p>(1) 整備管理者の選任は有資格者のうちから市長が行うとなっているが、何名いるのか</p> <p>(2) 安全運転管理者、副安全運転管理者はどのような職務内容か問う</p> <p>3 職員の人事について</p> <p>(1) この4月の人事異動は適材適所の配置ができたのか</p> <p>(2) 職員の意識改革を求める上でも民間企業を経験した人材も必要と思う。新規採用年齢の制限を緩和してはどうか</p> <p>(3) 新規採用職員の条件付任用期間について問う</p> <p>4 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について</p> <p>(1) 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」が有限会社トラベルシリウスにより再出発された。この間混乱を招き前副市長が辞職され、市長は最高責任者の立場から何らかの形で責任をとると発言されているが、どのような責任をとられるのか</p>
12	大 森 一 生	<p>1 地域振興、高梁再生について</p> <p>(1) 行財政改革と経済対策について</p> <p>① 歴史を生かしたまちづくりと地域再生について</p> <p>(ア) 歴まち計画の状況と景観計画の策定について</p> <p>(イ) 歴史を生かしたまちづくりを地域活性にどう結びつけていくのか</p>

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
1 2	大 森 一 生	② 市税の増収施策について ③ 産・学・官の連携について
1 3	倉 野 嗣 雄	1 農業振興について (1) アグリテクノ矢崎株式会社と連携協定を締結したが、今後どのような事業を計画されているのか。また、本市の農業振興にどう生かすのか 2 林業振興について (1) 作業道路を整備する国からの交付金が今年度限りと言われているが、今後も本市には必要と考えるがどう思われているのか
1 4	柳 井 正 昭	1 成羽病院について (1) 東日本大震災が各方面に様々な影響を与えているが、現在の工事の進捗状況はどうか (2) 「国民健康保険病院」として設置されている市民病院として、保健、医療、福祉、介護等公的病院としての役割、運営方針を明確に示すことが求められていると考えるが、市長の考えを問う 2 養護老人ホームの統合問題及び旧成羽高校の跡地利用問題について (1) これまでの経緯と今後の方針を問う 3 生活道路に対する補助金制度について (1) 平成 22 年度の補助金交付実績について (2) 事業の効率的な運用、また経費節減の観点から、旧大字単位等で要望を取りまとめるなどの工夫はできないか 4 ごみの問題について (1) 3 月末をもって市職員による収集が終了した。そうした中、収集業者から市内の中小事業所に対して収集の月契約の勧誘があったと聞く。この経緯について問う (2) ごみの分別が時々変わってきているが、市民への周知は十分できているのか